

平成27年度大学教育再生戦略推進費 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+) 計画調書

[基本情報]

1. 大学名	共愛学園前橋国際大学							
2. 機関番号	申請 大学	32303						
3. 事業者 (大学等の設置者)	ふりがな (氏名)	あとべ 跡部	よういち 洋一	(所属・職名) 学校法人共愛学園 理事長				
4. 申請者 (大学の学長)	ふりがな (氏名)	ひらた 平田	ゆみ 郁美	(所属・職名) 学長				
5. 事業責任者	ふりがな (氏名)	おおもり 大森	あきお 昭生	(所属・職名) 副学長 兼 COC推進本部本部長				
6. 事業名	持続的 ^{地方創生} 共同体形成プログラム:若者定着 ^{県域総ぐるみ} 計画							
7. 事業のキーワード	持続 / 地方創生共同体 / 若者定着 / 県域総ぐるみ							
8. 事業のポイント (400字以内) (398文字)	<p>共愛学園は明治21年以來一貫して群馬県前橋市にて教育に邁進してきた。本学は地域社会の諸課題に対処できる人材の養成を目的に、地域志向を最重要の柱に位置付け、教育・研究・社会貢献を展開してきており、今後は、学長を委員長とする地域志向改革全学推進機構である「地(知)の拠点化推進委員会」を拡充し、地域志向の^{カリキュラム}改革も断行しつつ、地(知)の拠点大学としての役割を一層強化することとなる。本事業では、若者の流出が顕著な群馬県を事業協働地域に定め、地方創生の核となる若者を中心とする「人」の集積を最大の目的として、社会連携教育による地域人材育成、多様なインターンシップ、企業と大学の密な交流や雇用創出、首都圏拠点によるUターン支援等を通して、若者の群馬県への定着を促進する。そのために、多くの協働機関が主体意識を共有しながら持続可能な地方創生共同体を^{県域総ぐるみ}で形成し、その規模を^{拡げ}続けていく。</p>							
9. 学生・教職員数	学生数				教職員数(H27.5.1)			
		入学定員 (平成27年度)	全学生数 (H27.5.1)	収容定員 (平成27年度)	定員充足率 (H27.5.1)	教員数	職員数	合計
	学部	225 人	994 人	910 人	109.2%	32 人	29 人	61 人
	大学院	人	人	人	人			
合計	225 人	994 人	910 人	109.2%				
10. 学部・研究科等名	学部等数	1			研究科等数			
	(学部等名) 国際社会学部							
(研究科等名)								

11. 学校教育法施行規則第172条の2第3項において「公表するものとする」とされた教育研究活動の状況について、公表しているHPのURL	http://www.kyoai.ac.jp/?p=3064						
--	---	--	--	--	--	--	--

12. 事業経費(単位:千円) ※千円未満は切り捨て						
年度(平成)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	合計
事業規模						
内訳	補助金申請額					
	大学負担額					

※1. 文部科学省や他省庁が実施する他の補助金(公募要領P. 9の2. (11)参照)は「大学負担額」に計上しないこと。

※2. 国立大学における運営費交付金、公立大学における運営費交付金等、私立大学の私立大学経常費補助金等は「大学負担額」に計上しないこと。

※3. 事業申請書中、他の補助金事業の取組は「申請書等の作成・提出方法」において示しているとおり、別の色で記載すること。ただし、事業経費欄には含めないこと。

13. 事業協働機関	(参加大学) 高崎商科大学、上武大学、明治学院大学
	(参加自治体) 群馬県、前橋市、高崎市、伊勢崎市、富岡市
	(参加企業等) 一般社団法人群馬県商工会議所連合会、群馬県中小企業同友会、前橋商工会議所、(株)群馬銀行、しののめ信用金庫、(株)上毛新聞社、(株)ワークエントリー、サンデンホールディングス(株)、(株)ジェイアイエヌ、相模屋食料(株)、財団法人サンデン環境みらい財団、NPO法人教育支援協会北関東、NPO法人いせさきNPO協議会社会貢献ネット

14. 事業の一部を協力する大学	群馬大学、群馬県立女子大学、群馬県立県民健康科学大学、前橋工科大学、高崎健康福祉大学、東洋大学・板倉キャンパス、群馬医療福祉大学
------------------	--

15. 事業事務総括者部課の連絡先 ※採択結果の通知、ヒアリング等の事務連絡先となります。				
部課名			所在地	
責任者	ふりがな (氏名)		(所属・職名)	
	ふりがな (氏名)		(所属・職名)	
担当者	電話番号		緊急連絡先	
	e-mail(主)		e-mail(副)	

※原則として、当該機関事務局の担当部課とし、責任者は課長相当職、担当者は係長相当職とします。

e-mail(主)については、できる限り係や課などで共有できるグループメールとし、必ず(副)にも別のアドレスを記入してください。

(大学名: 共愛学園前橋国際大学)